



# 二輪草だより

平成28年3月号  
発行:二輪草センター

## センターの活動予定

- ◆4月上旬 女性医師在籍状況調査
- ◆4月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより4月号発行

## 第23回 二輪草セミナー終了報告

二輪草センター助教 菅野 恭子

平成28年2月23日に第23回二輪草セミナーが開催されました。今回は「働くママのワークライフバランス」と題して育児と仕事を両立されております3人の方にご講演頂きました。今までは医師、看護師の体験談が主でしたが、今回は臨床検査技師の中森理江さんと主任薬剤師の山本香緒里さん、以前セミナーで講演頂いた副看護師長の尾上恵子さんという異なる職種の皆さんのワークライフバランスをテーマに企画致しました。皆さん業務内容は異なりますが、子育てしながら自分のキャリアを築いている点では共通しており、それぞれやりがいを持って仕事をされている様子や両立するために色々工夫している点でも共感できることが多々ありました。また、演者の方からは「今後の自分を考える良い機会になった。」というお言葉を頂きました。セミナーを通して他の職種の方々の具体的な業務内容を知ることができたのも今回の企画の良かった点だと思います。

今回のセミナー終了後のアンケート結果では回答下さった全ての方が大変良かったもしくは良かったと答えて頂きました。多くの方から多数のコメントを頂きましたので、いくつか紹介させて頂きたいと思います。

「小1の壁、感じている人が多いと思うので、乗り越えた人の話はとても貴重」

「女性の社会復帰の準備のために役立つ企画でした」

「苦労も楽しみに変えている姿勢が、皆さん素晴らしいと思いました」

「色々な職種の方のご経験をきけて、貴重な機会となりました」

「実際の自分の状況と通じるものがあり、良かった」

「子育てと仕事の両立に対して、そんなに気負わなくても何とかできるのかなと思えるようになった」

「リアリティのある生活パターン、夫婦のあり方等わかり参考になった。世の夫は皆もっと家事をしているようで反省した」

「各々の方が仕事を楽しんで意欲的に取り組んでいることで、子育てにも仕事にも良いバランスが保たれていると感じた」

「普段なかなか聞くことができない、女性側の素直な意見を聞くことができたと思う」

「他職種の方の働き方について知れておもしろかった。尾上さんのお話、感動しました。子どもに仕事を楽しんでいることを伝えられるようになりたいと思いました。小1の壁は親が作っていた、も励まされました」

最後になりましたが、お忙しい中ご講演頂きました3人の講師の方々および聞きに来て下さった職員や学生の皆様にお礼を申し上げます。これからも育児、介護をテーマに来て良かったと思えるセミナーを企画したいと思いますので是非多くの方にご参加頂ければと思います。



## ストレスチェック制度導入のための実務研修に参加しました

二輪草センター助教 菅野 恭子

平成27年12月1日から従業員数50以上の事業場にてストレスチェック制度が義務化されました。二輪草センターでは2年前から職場のストレスについてアンケートを行い9割以上の職員にストレスがありその中でも人間関係によるものが最も多いことがわかりました。2回にわたって講師を招き人間関係のトラブルの対処法についてイブニングセミナーを開催しましたがそのような経緯もあり、今回1月14日東京で開催されたストレスチェック制度についての実務研修に参加してきました。一般社団法人日本精神科産業医協会共同代表理事の渡辺洋一郎氏からストレスチェック制度導入のポイントと運用の実際についての講演がありました。

ストレスチェック制度は「有効に機能すれば労働者の健康向上、企業の業績向上などをもたらす、労働者、職場両者にとって大きなメリットのある制度である。一方、さまざまな課題や問題点を含んだ制度であり、安易な取り入れは従業員の不信感の増強、労使トラブルの増加、人間関係の悪化、組織の混乱、無意味な支出の増加をもたらす、労働者、職場両者にとって大きな不利益をもたらす制度である」とのことでした。ストレスチェック制度の原理として事後措置をはかるためには事業者が本人を特定する必要があり、個人結果の開示が必要です。労働者が自身のストレス検査結果を事業者知られると不利な取り扱いをうける危険があり、個人結果を開示できません。これらの相反する二つの原理を満たすのは非常に複雑な方法ですが、具体的な運用法についての解説がありました。今後の課題として①労働者が正直に回答できるような枠組みや、高ストレスと判定された労働者が医師の面接を受けやすい枠組みを作ることによる労働者、事業者両者にメリットの有る目標の設定と周知、②個人情報管理の徹底、③面接指導体制の質の向上、④労働者、事業者の両者にとって有用な事後処置、⑤面接指導を希望しない高ストレス者、面接指導を実施した高ストレス者のフォロー、⑥組織分析結果を有用に活用し職場環境の改善につなげることが挙げられました。最後にストレスチェック制度の導入を成功させるためにはまずその目的を明確にし、目的を達成させるという覚悟と準備をもって全社でのぞむこと、また、最も重要な職場環境とは人間関係、コミュニケーションであると認識することとお話がありました。

二輪草センターではこれまでセミナーを通して人間関係のストレスを軽減する対処法を提案してきましたが、これからも何らかの形で職場環境の改善の助けになるよう努めて参りたいと思います。

## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【2月20日～3月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	1回	利用回数	1回
バックアップナース	依頼回数	17回	稼働回数	17回
病児・病後児保育室	依頼回数	15回	利用回数	11回
カウンセリング相談			利用回数	8回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

## 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>